

○D調査の分析結果について

○D調査の分析（白須賀新居鷺津線）

年齢 (ODP4)	52.0%が「65歳以上の高齢者」、28.0%が「小学生」の利用。大学生以上65歳未満が18.7%と他路線と比べて低い。
利用目的 (ODP6)	26.7%が通学と最も多く、他路線と比べて多種の利用が見られる。
利用頻度 (ODP8)	「週に数回程度」が33.3%、「ほぼ毎日」が26.7%となり、利用頻度が高い利用者が多いと推測。
乗継路線 (ODP14)	JR東海道本線が60.0%と多く、沿線市民が鷺津駅、新居町駅へ向かうために利用されていることが推測される。
往復利用者 (ODP16、P18)	28人/75人（37.3%）。半数以上が片道利用者。市役所行きについて、午前中に乗車してお昼前後に帰宅する利用者が多い。JA白須賀支店行きについても同様。
○D分析 （市役所行き） (ODP60)	白須賀地域→新居地域、新居地域→鷺津地域の利用の2つの利用に分かれている。他路線と比較して、出発点付近から終点付近まで乗車する利用者は少なく、近距離での利用が多いのも特徴的。
○D分析 （JA白須賀支店行き） (ODP61)	市役所行きと同様に、出発点付近から終点付近まで乗車する利用者は少なく、近距離での利用が多い。

○D調査の分析（白須賀鷺津線）

年齢 (ODP4)	39.7%が「65歳以上の高齢者」の利用。大学生以上65歳未満が45.6%、高校生が10.3%と他路線と比べて利用が多いのが特徴的。
利用目的 (ODP6)	23.5%が買い物と最も多く、他路線と比べて多種の利用が見られる。
利用頻度 (ODP8)	「週に数回程度」が39.7%、「ほぼ毎日」が26.5%となり、利用頻度が高い利用者が多いと推測。
乗継路線 (ODP14)	JR東海道本線が91.7%と他路線と比較して高く、沿線市民が鷺津駅に向かうために利用されていることが推測される。
往復利用者 (ODP16、P19)	41人/68人（60.3%）。半数以上が往復利用者。他路線と比べて、15時、16時台の復路の利用が多い。
○D分析 （湖西病院行き） (ODP64)	出発点付近の乗車、終着点付近の降車が多く見受けられ、白須賀、坊瀬、川尻の沿線集落から鷺津駅への乗降が主な利用。
○D分析	出発点付近の乗車、中間点～終着点付近の降車が多く見受けられ、

(長谷西行き) (ODP65)	湖西病院、鷺津駅、遠鉄ストアから沿線集落への降車が主な利用。、 ここでも往復利用者が多い傾向と推測できる。
--------------------	--

○ D 調査の分析（白須賀岡崎線）

年齢 (ODP4)	46.6%が「小学生」の利用。それに引きずられた形で大学生以上の割合が少ない。
利用目的 (ODP6)	46.6%が通学と最も多く、通院の利用も他路線と比べてやや高め。
利用頻度 (ODP8)	「ほぼ毎日」が 50.0%と小学生の毎日の通学が反映された形となった。
乗継路線 (ODP14)	J R 東海道本線が 66.7%とやや高めであり、通院利用者が新所原駅に向かうために利用されていることが推測される。なお、小学生の通学はこれには反映されない。
往復利用者 (ODP16、P20)	42 人/58 人（72.4%）。半数以上が往復利用者。おんやど白須賀行き 7:15 と浜名病院行き 13:01 のほとんどが小学生の通学利用。また、ほとんどの往復利用者が午前中の利用となっている。
○ D 分析 (おんやど白須賀 行き) (ODP62)	浜名病院から新所原駅へ J R 東海道本線利用者、新所原駅から笠子北周辺企業への通勤者、笠子方面から白須賀小学校への通学利用者が主な利用。
○ D 分析 (浜名病院行き) (ODP63)	白須賀小学校から笠子方面への通学（帰り）の利用が主な利用。

○ D 調査の分析（岡崎循環線）

年齢 (ODP4)	57.9%が「65 歳以上の高齢者」の利用。特に 75 歳以上の利用者が 42.1%と目立つ。また、幼児が 15.8%の利用も多いのが特徴的。
利用目的 (ODP6)	31.6%が「習い事・趣味」と最も多く、「通学」の利用が少ないのが特徴的。
利用頻度 (ODP8)	「週に数回程度」が 57.9%と多く、「ほぼ毎日」が 5.35%と少ないのが他路線と比較して見受けられる。特定のユーザーが利用と推測。
乗継路線 (ODP14)	岡崎循環線 63.6%、入出新所鷺津線 36.4%とバス路線相互の乗継が 100%。
往復利用者 (ODP16、P20)	11 人/19 人（57.9%）半数以上が往復利用者。その半数以上が 8 時に乗車し、13 時台に帰宅する。
○ D 分析 (ODP56)	デンソー湖西製作所から浜名病院、J A 湖西北支店から浜名病院、新所原駅からいしはま医院の乗降が主な利用。

○ D 調査の分析（岡崎鷺津線）

年齢 (ODP4)	58.1%が「65歳以上の高齢者」の利用。幼児の利用あり。
利用目的 (ODP6)	22.6%が通院、と最も多く、他路線と比べて多種の利用が見られる。
利用頻度 (ODP8)	他路線と比べて「年に数回程度」の利用者が多く、「ほぼ毎日」と「週に数回程度」の利用者が少ない。利用者総数は他路線と比較して多いため、利用者実人数が多く、利用頻度が高い利用者は少ないと推測。
乗継路線 (ODP14)	JR東海道本線が78.6%と多く、沿線市民が鷺津駅、新所原駅へ向かうために利用されていることが推測される。
往復利用者 (ODP16、P21)	56人/93人（60.2%）。半数以上が往復利用者。湖西病院行きについて、午前中に乗車してお昼前後に帰宅する利用者が最も多い。浜名病院行きについて、午前中に乗車してお昼前後に帰宅する利用者が多い。17時、18時に帰宅する利用者はいない。
○ D 分析 (湖西病院行き) (ODP57)	浜名病院→アメニティプラザの利用が最も多く、川尻、浜名病院、アメニティプラザから鷺津駅周辺のバス停の利用もある。出発点付近の乗降車、終着点付近の降車が多く見受けられる。
○ D 分析 (浜名病院行き) (ODP58)	利用目的と同様に様々なバス停での利用がある。出発点の乗車、終着点付近の乗降車が多く見受けられる。

○ D 調査の分析（知波田鷺津線）

年齢 (ODP4)	52.8%が「65歳以上の高齢者」。15.4%が「小学生」の利用。
利用目的 (ODP6)	40.7%が「通院」と最も多く、次に「通学」、「通勤」の利用が見られる。
利用頻度 (ODP8)	「週に数回程度」が39.6%、「ほぼ毎日」が23.1%となった。「通院」を目的とした利用頻度が高い利用者が利用していると推測。
乗継路線 (ODP14)	JR東海道本線が42.1%と多いが、他路線と比べて低く、バス路線相互の乗り継ぎが多い。
往復利用者 (ODP16、P22.23)	36人/91人（39.6%）。湖西病院行きは、7時台に集中しており、横山会館行きはばらけている。午前中の早いうちに出発し、都合に合わせて帰宅していることが推測される。
○ D 分析 (湖西病院行き) (ODP66)	横山会館→知波田小学校の通学、入出→鷺津駅周辺バス停の利用がほとんど。なお、入出→JA湖西北支店の利用があり、新所原方面への乗り継ぎも見受けられる。知波田小学校の通学便を除けば、知波田駅、入出の乗車、鷺津駅周辺の降車が目立つ。
○ D 分析	湖西病院行きの反対の利用がほとんどだが、知波田小学校の下校に

(横山会館行き) (ODP67)	よる乗車はなし。大知波、利木、横山の降車はほとんどなし。出発点からの乗車、入出、知波田駅までの降車が目立つ。
---------------------	--

○D調査の分析（鷺津循環線）

年齢(ODP4)	53.3%が「65歳以上の高齢者」の利用。大学生以上65歳未満が46.7%。他路線と比較して、それ以外の利用はいないのが特徴的。
利用目的(ODP6)	55.6%が「買い物」と最も多く、他路線にはない特徴となった。
利用頻度(ODP8)	「週に数回程度」が60.0%、「ほぼ毎日」が22.2%となり、利用頻度が高い利用者がかなりの割合を占めていると推測。
乗継路線(ODP14)	JR東海道本線が26.7%と他路線と比較して低く、また、鷺津循環線の乗継が46.7%と多いのが特徴的。沿線市民が鷺津区域内の利用に使用されていると推測。
往復利用者 (ODP16、P19)	16人/45人（35.6%）。西回りでの往復利用者は少なく、東回りの往復利用者が各便で利用。
○D分析 (東回り)(ODP71)	各バス停で乗降があるも、鷺津駅や買い物施設の乗降が主な利用。
○D分析 (西回り)(ODP72)	鷺津駅の乗降が半数を占める。その他はおぼとの降車、市役所の乗車と続く。ありき眼科以外のバス停は他路線でも停車するため、利用者が少ないのでは。と推測。

○D調査の分析（入出新所鷺津線）

年齢(ODP4)	高校生以上65歳未満が81.1%と他路線と比較しても利用が圧倒的に多い。
利用目的(ODP6)	36.5%が通勤と最も多く、他路線にはない特徴となった。
利用頻度(ODP8)	「ほぼ毎日」が35.1%となり、利用頻度が高い利用者が多いと推測。
乗継路線(ODP14)	JR東海道本線が95.0%と多く、沿線市民が鷺津駅へ向かうために利用されていることが推測される。
往復利用者 (ODP16、P25)	25人/74人（33.8%）。半数以上が片道利用者。湖西病院行きについては、各便万遍なく往復利用者があるが、正太寺行きについては、夕方のみ。
○D分析 (湖西病院行き) (ODP68)	入出、川尻、浜名湖電装→鷺津駅と、JR東海道本線を利用するためにこの路線を利用していることが顕著に表れている。
○D分析 (JA白須賀支店行き) (ODP58)	湖西病院行きの利用と同様。鷺津駅→浜名湖電装の利用が特に目立つ。

○D調査の分析（遠鉄バス浜名線）

年齢(ODP4)	小学生が60.3%と他路線と比較しても利用が圧倒的に多い。
利用目的(ODP6)	61.9%が通学と最も多く、他路線にはない特徴となった。
利用頻度(ODP8)	「ほぼ毎日」が63.5%となり、小学生の通学として利用が明らか。
乗継路線(ODP14)	JR東海道本線が33.3%と他路線と比べて少なく、白須賀新居鷲津線が55.6%と高い。
往復利用者 (ODP16、P26)	41人/63人（65.1%）。半数以上が片道利用者。これも小学生が主に利用と推測。
○D分析 (湖西市役所行き) (ODP73)	ユニバンス、清源坂周辺の小学生が新居小学校への通学が主な利用。
○D分析 (浜松駅行き) (ODP74)	湖西市役所行きと同様の利用。

